

2008年（平成20年）11月19日

各 位

本店所在地 東京都千代田区一番町8番地
会社名 そーせいグループ株式会社
(コード番号 4565 東証マザーズ)
代表者 代表執行役社長 CEO 田村 眞一
問い合わせ先 代表執行役副社長 前川 裕貴
電話番号 03-5210-3290(代表)

開発品 SD118 の薬理試験データの発表について

当社グループ及び NeuroDiscovery Ltd (ASX: NDL) は、共同開発品である SD118（適応：神経障害性疼痛）の薬効薬理試験結果を第 38 回 北米神経科学会において発表したことをお知らせします。

本薬効薬理試験結果は、ストレプトゾトシン誘発 1 型糖尿病性神経障害モデルおよび絞扼性神経損傷モデル (CCI モデル) において、本剤が神経障害性の感覚過敏 (アロディニア) を抑制し、末梢神経の異所性発火を阻害することにより、神経障害性疼痛に有効であることを確認したものです。

SD118 は、2006 年 6 月に締結した提携契約に基づき、NeuroDiscovery Ltd (オーストラリア) および同社の 100% 子会社の NeuroSolutions Ltd と共同で開発が進められています。本剤は、日本において他の適応症で開発されていた薬剤を、当社のドラッグ・リプロファイリング・プラットフォーム (DRP®) により再評価する過程で、各種疼痛動物モデルでの実験結果から、新たに神経障害性疼痛治療のための経口剤としての可能性を見出したものです。

Neuro Discovery Ltd グループ・チーフ・エグゼクティブ クリス・モイゼス氏は次のように述べています。「この程良好な結果を発表できたことを大変喜ばしく思っております。この結果により、当社が、現在使用されている神経障害性および炎症性の疼痛管理薬よりポテンシャルの高い化合物を探索できることが裏付けられました。」

当社グループ代表執行役社長田村眞一は次のように述べております。「アンメットニーズを満たす新たな治療法となる可能性を有している臨床段階のSD118プロジェクトが順調に進んでいることを大変喜ばしく思っております。」

第 38 回 北米神経科学会は 2008 年 11 月 15 日～19 日まで、米国のワシントン市で開催されています。

編集者の方々への追記：

神経障害性疼痛

神経障害性疼痛は、神経因性疼痛とも呼ばれますが、神経系の一時的障害あるいは機能異常、すなわち神経系への感染、圧迫、外傷、腫瘍などにより生じる、長期間持続する難治性の疼痛です。持続的な痛みは患者の Quality of Life を著しく低下させることから、痛み自体が治療の対象となります。現在米国および欧州では、ファイザー社のプレガバリン (Lyrica®)、イーライリリー社のデュロキセチン (Cymbalta®) が本領域の適応症を取得して、使用されています。また、同一症状の疼痛でも疼痛発症機序は多様であり、同一の治療法の効果は一様ではないことから、非常に活発に薬剤の開発が行われている領域です。

神経障害性疼痛の患者数は全世界でのおよそ 26 百万人と見積もられています (出典：Epicom, 2005)。神経障害性疼痛の世界市場規模は、2010 年には 55 億ドルまで拡大すると予想されています。現在日本における薬物療法としては、抗けいれん剤、抗うつ剤、鎮痛剤が使用されていますが、十分な効果が得られていません。

アロディニア

神経障害性疼痛患者が経験する、下着が軽く触れるあるいは風の流れるような、本来なら痛み刺激とはならない非侵害刺激で感じる痛み。

ストレプトゾトシン誘発 1 型糖尿病性神経障害モデル

ストレプトゾトシンを投与し、膵ランゲルハンス島のベータ細胞 (インシュリンを産生する細胞) を選択的に破壊することによって発症させた 1 型糖尿病に関連した痛みに対する効果を評価する動物モデル。

絞扼性神経損傷モデル (CCI モデル)

一側の坐骨神経を軽く絞扼して神経を損傷させ、関連した痛みに対する効果を評価する動物モデル。

そーせいグループ株式会社

そーせいグループは医薬品開発に注力するバイオ医薬品企業として、独自のプロダクト・ディスカバリー (開発品創出機能) と開発戦略を有しております。既知の医薬品および医薬品候補化合物の新規用途を探索する手法により、医薬品開発に伴うリスクを低減しうるビジネス戦略を構築し、また、日本および欧米市場間の医薬品の導入・導出を通じて独自の事業展開を目指しております。

そーせいについての詳細な情報は、www.rosei.com をご覧下さい。

NeuroDiscovery Ltd について :

ASX (オーストラリア証券取引所) 上場の神経学を専門とする研究開発会社です。

NeuroDiscovery 社についての詳細な情報は www.neurodiscoveryltd.com をご覧ください。

NeuroSolutions Ltd について :

NeuroSolutions 社は、広範な専門知識と、創薬プラットフォームを持つサービス会社であり、電気生理学的な薬品分析分野のリーディングカンパニーです。電気生理学は、膜、細胞、組織中の電気的活性、または in vivo での電気的活性を記録するために使用される専門的な技術です。NeuroSolutions 社は、多くの製薬会社およびバイオ企業をクライアントに有しており、これらの会社に対するサービス提供とともに、その技術、専門知識を用いて、自社でも医薬品の研究開発を行っています。なお、同社の他の有望な開発品である NSL-101 は、歯痛領域における有用性を検討する 2 本の第 II 相臨床試験を開始しています。

NeuroSolutions 社についての詳細な情報は www.nsolns.com をご覧ください。

以上